

◆◆◆ 広告一覧 (五十音順) ◆◆◆

アネスアルファ……………表 2, i, ii
 アネスネット……………1179
 医学書院……………1248, 1249
 医書ジェーピー……………1207
 エム・ディー・マネジメント……………表 3
 ディヴィンターナショナル……………1206
 南山堂……………1177
 日本医事新報社……………1163
 日本医書出版協会……………1241
 フジメディカル……………1187
 メディカルブレーン……………1252

次号予告 2023 年 12 月号 Vol.30 No.12

【徹底分析シリーズ】身近なのに距離がある医療機器

関西医科大学 麻酔科学講座 穴田 夏樹

▼ 自己血回収装置

京都からすま病院 麻酔科 (前 医療法人佐伯医院 麻酔科) 牧野 朝子

▼ 急速輸液装置

三重大学医学部附属病院 麻酔科 小野 大輔・松崎 孝

▼ CHDF

東京大学医学部附属病院 救急・集中治療科 吉本 広平

東京大学医学部附属病院 救命救急センター 土井 研人

▼ V-A ECMO

東京女子医科大学 集中治療科 梅井 菜央

▼ ネーザルハイフロー

順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座 長島 道生

▼ 一酸化窒素ガス管理システム (アイノフロー)

聖マリアンナ医科大学 小児科学教室 田中 拓・川口 敦

▼ 神経モニタリング

奈良県立医科大学 麻酔科学教室 川口 昌彦・小川 裕貴

【症例ライブラリー】周術期の低体温を考える

オーガナイザー：札幌医科大学麻酔科学講座 立花 俊祐

九州大学病院 手術部 白水 和宏

奈良県立医科大学附属病院 看護部 リソースナースセンター 中谷 仁美

奈良県立医科大学 麻酔科学教室 内藤 祐介

東北大学大学院医学系研究科 麻酔科学・周術期医学分野 紺野 大輔

北海道立子ども総合医療・療育センター 小児集中治療科 酒井 渉・名和 由布子

東京女子医科大学附属八千代医療センター 救急救命センター 落合 香苗

※誌面の都合により、内容は変わることがあります。

◆◆◆ 今月の our favorite ◆◆◆

「五右衛門風呂」(なるほど〜)と「寒ブリの照り焼き」(美味しそう)と、今月号のお気に入りを見てみると、はるか昭和の時代に専業主婦として務めていた母が、仕事から帰宅した父に「お疲れ様でした。お風呂にしますか、夕飯にしますか」と変わらずに声をかけていた光景をほんやりと思い出し、昨日と今日と明日と、同じように繰り返されるあの日々も一つの「幸せのカタチ」だったのだと思いました。(E)

Eテレの番組「デザイン あ」で以前、日常動作を実況解説する、というコーナーがありました。上着を着るなどの意識しないで行う動作が、実は体全体を使った複雑な作業であると再認識しました。ブックレビュー『習慣と脳の科学』では、日常生活動作などを含む習慣の合理性とともに、習慣がいかに強固であるか、恐ろしい側面も知ることができました。(N)

久しぶりの「判例ピックアップ」では、気道確保困難症例が取り上げられています。分刻みの経過には緊迫感があり、文字数の多さがまったく気にならずに読み進められました。「デバイスがかなり改善されたこともあり、手術室で緊急的気道の確保が必要になる場面は減多に生じず…」という事情は、「ちょっと拝見」となりのDAMカート」のメモからも伝わってきます。XR技術で擬似的にでも臨床経験を得られるなど、新たな対策が進むことを望んでいます。(M)

「Abroad Diary」ではドイツ留学中の筆者が、同僚に自身をどう呼んでもらうかについての想定外を綴っています。ドイツには「Satow」という街や姓があり、ドイツ人にも発音しやすいためか、苗字の「サトー」で通しているそうです(ドイツ語では「サトウ」と訛るようですが)。日本語を自在に操り幕末の日本で活躍した英国の外交官アーネスト・サトウも、ドイツ系の父親の姓とのこと。わずかながら日本とのつながりを感じた次第です。(H)